

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	平和資料収集事業	会計	一般会計	事業No.	750	施策順No.	61-001
事業種別	政策・その他	予算科目	O予算事業				
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり	課等名	生涯学習・スポーツ課				
施策	61 地域資源の発見	事業期間	開始	13	終了		

1 事業の目的

事業の目的 は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象 誰、何に 事業をどう変えるか	平和資料	A:十分達成した B:どちらかといえど達成した C:どちらかといえどできっていない D:ほとんど達成できていない		
		具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度 20年度 21年度 22年度 23年度		
	意図 事業をどう変えるか	収集された資料数(個)	80 90 114 120		
		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度 実績 20年度 実績 21年度 実績 22年度 目標 22年度 実績 23年度 目標		
22年度の目標達成度に対する振り返り 【政策的事業のみ評価】		収集された資料数(累計・個)	70 80 90 114 120		
収集資料の聞き取りや台帳整理を実施したことにより、展示できる資料数が増加した。					A

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度 (仕組み)説明	軍隊、軍属、満蒙開拓、抑留、被災など戦争に係る様々な(以下「戦争などの」という。)体験を語り継ぐ資料、遺品や資料を収集・保存するための方法の検討、収集・保存、展示方法の研修、広報等を通じて市内に存在する資料・遺品の調査と活用を考える。		
22年度 事業内容	事業内容	名称	活動量・単位
	1 平和資料収集委員会、資料整理プロジェクト会議の開催 2 資料収集及び資料調査・整理(聞き取り) 3 滿蒙開拓平和記念館建設準備会への参加	1 開催数 2 活動回数 3 参加数	1 7回 2 9回 3 2回
23年度 実施計画	1 平和資料収集委員会、資料整理プロジェクト会議の開催 2 資料収集及び資料調査・整理(聞き取り) 3 滿蒙開拓平和記念館建設準備会への参加 4 平和資料展の開催 5 視察研修	1 開催数 2 活動回数 3 参加数 4 資料展の開催数 5 参加者数	1 回 2 回 3 回 4 回 5 人

3 事業コスト

事業費	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金 県支出金 起債 その他				
一般財源					
計 (A)	0	0	0		
正規職員所要時間		100			
臨時職員等所要時間					
人件費計 (B)		358			
トータルコスト A+B		358			

4 事業に対する市民や議会の意見

平成12年6月議会で「平和記念館(仮称)の設置について」請願採択。 平成12年11月23日、飯田市勤労者協議会会長から、「平和記念館(仮称)の設置に向けて、資料収集のための調査費を計上されたい。」との市政要望あり。 平成19年3月議会において、満蒙開拓平和記念資料館建設に対する市の協力について質問がされた。 平成22年12月議会において、収集保管している平和資料の活用について質問が出された。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域資源が見出される	施策の成果指標又はムース指標	見出された地域資源の数
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	満蒙開拓や戦争の体験を語り継ぐ資料を収集・保存する取り組みであり、施策目標につながる。 資料展、平和学習等の機会を通して、資料収集の呼びかけを行う。 収集資料の整理を進めると共に、展示場所の検討を進めていく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	満蒙開拓に関する研究を行っている歴史研究所と連携した学習会へ参加し、資料の保存について検討してきた。 資料整理における研究機関との連携により、資料価値を高めることができる。これらを平和学習に活用することで成果を向上させることができます。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	O予算事業 今後、収集資料の保管場所の決定等により、施設改修が必要となる可能性がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	地域の歴史資料を収集保存する重要な事業であり、市が関与することが妥当である。 平和資料収集委員会との協働で取り組んでいく事業であり、今までと同様に市が関与していく必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	平和資料の収集・整理は、資料を保存するための方法等について検討する「平和資料収集委員会」が中心となっている。市は事務局として検討会議、研修会等の開催に関わり、収集した資料の保管を行っている。 平和資料の収集・整理は、市の歴史研究所が関わる中で平和資料収集委員会を主体として取り組みを進めていく。市は、平和資料収集委員会の事務局として検討会議、研修会を開催し、収集した資料を保管する。 委員会の委員が所属する団体等と協力して資料収集を行うため、資料提供の呼びかけについては市の広報等を活用した取り組みを行っていく。		
全体を通じて	4年間の振り返り 後期に向けた課題	平和資料の収集・保存を行う前提として、平和資料収集委員会に資料整理プロジェクトを設置し、資料提供者への聞き取りを開始した。 資料提供者の高齢化等により情報収集が難しくなるため、早急な資料調査を行う必要がある。展示機会を設け平和学習に活用できるようにする。満蒙開拓平和記念館事業準備会が阿智村に建設を進めている「平和記念館(仮称)」について、オブザーバー参加する会議の状況を把握していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------